

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援 A 型事業
事業主体 (連絡先)	株式会社フジすまいるファーム飯山 (飯山市大字照岡 485-イ)
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,819,157 円 (うち支援金 : 1,363,000 円)

## 事業内容

長野県及び飯山市が推進している「農・福連携事業」の一環として、飯山市の基幹産業である「農業」の振興と障がい者が自立した生活を送れることを目的とし、障がい者総合支援法に基づく就労継続支援 A 型事業所「フジすまいるファーム飯山」を設立した。閉校後の校舎の利用、遊休農地の活用、信州伝統野菜「坂井芋」の安定生産など、地域の活性化と障がい者の職域と雇用の拡大に取り組んでいる。以下支援金で整備したもの

- ・管理機 2 台、耕運機、管理機アタッチメント
- ・播種ユニット いぼ竹、
- ・遊休農地 30a 開墾
- ・堀取機、トップリンク、ウエイト

## 事業効果

- 障がい者今年度新規 1 名雇用達成、3 月現在計 13 名定着中、退職者なし。
- なべくら高原では 2.6ha を活用し生産活動を行った。枝豆も試験栽培した。冬場大根は雪室へ保存し市中学校給食センター、かまくら祭りへ 200 kg 出荷した。
- 千曲川河川敷坂井地区では信州伝統野菜「坂井芋」生産・JA へ出荷した。枝豆も試験栽培した。
- 地域の活性化として地元住民や行政機関で愛媛みかんを販売、地区道祖神祭やフラワーロード整備、草取りなど地域活動へ協力。かまくら祭へすまいる商店出店、施設外就労として外様地区レストランかまくら村、県農業普及改良センター及び県セルフセンター協議会の紹介による農家 2 件含め 5 件の農家で作業を行った。いいやま観光局、㈱ JTB とコラボし、観光モニターツアーを実施、農福連携事業関連旅行商品を開発中。飯山市、大学との包括協定にむけ協議を開始した。

## 今後の取り組み

- 生産活動としての農業は年々圃場を拡大していく。特に坂井芋、枝豆の生産に力を入れるため、飯山市木島地区に作業場を設置、枝豆作業用機械購入等作業の効率化をはかる。
- 利用者の能力開発を重点的に行う。農機具、トラクター、フォークリフトの作業ができる人材を増やしていく。
- 雪室野菜、愛媛柑橘類などの販売も拡大する。
- 農福連携関連観光事業については行政や大学、地域と連携し組み立てる。
- 冬場のはるさめ加工作業の出荷量を増やしていく。● 施設外就労や行事を通して地域と連携、貢献する。



【親会社フジ店頭でのPOP写真】

## 【目標・ねらい】

- ① 障がい者の新規雇用と定着
- ② 遊休農地の有効活用
- ③ 伝統野菜の継承
- ④ 地域の活性化

## ※自己評価【 A 】

## 【理由】

- ① 新規雇用者 1 名、退職者なし
- ② 木島地区開墾 30a 開墾実施
- ③ 坂井芋や雪室野菜の認知を進めた。新規作物として枝豆と党たち菜を作付した。
- ④ 積極的に地域イベント、行事への参加協力協賛、施設外就労を実施、観光事業への取り組み開始、地域連携ネットワークを構築した。